

三和の 鋼製引戸 スライドTα用 引戸クローザ

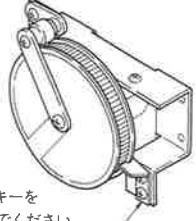
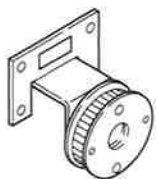
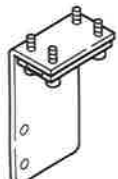
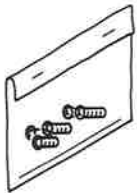
取付説明書

SW-1300T(R)

SW-1450T(R)

右引き用 (左引きの場合は裏面をご覧ください。)

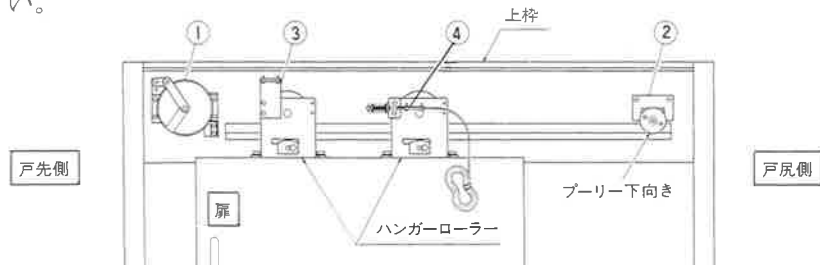
■梱包内容明細

①本体	1コ	②プーリー	1コ	③タイミングベルト取付金具	1コ	④タイミングベルト	1コ	⑤ねじM5×12	12コ	⑥六角棒スパナ	1コ
 ホールドキーを 外さないでください				 1コ		 結束テープの色 SW-1300T：青 SW-1450T：黄					

■取付け手順

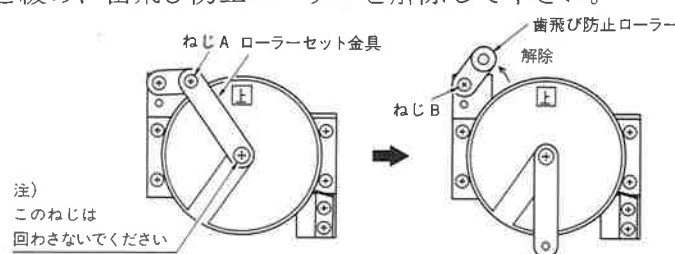
1 上枠及びハンガーローラーに部品の取付け

- 上枠に部品①、②をねじ⑤で取付けて下さい。
- 各ハンガーローラーの戸先側に部品③、④をねじ⑤で取付けて下さい。



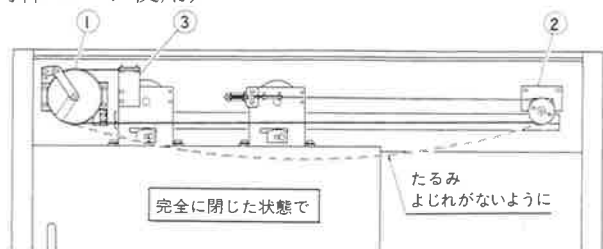
2 歯飛び防止ローラーの解除(タイミングベルト組付け準備)

- 本体①のねじAを取り外し、ローラーセット金具をフリーにして下さい。
- ねじBを緩め、歯飛び防止ローラーを解除して下さい。



3 タイミングベルトの組付け

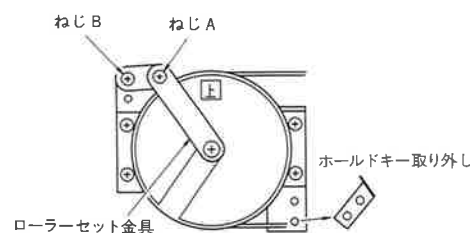
- 扉を完全に閉じた状態で、タイミングベルトをプーリー②と本体①に掛け、たるみ、よじれが無いように取付け金具③に固定して下さい。(六角棒スパナ使用)



注意 本体は、ホールドキーで回り止めされているので、手順4の作業が完了するまで扉を開けないでください。

4 歯飛び防止ローラーのセット・ホールドキーの取り外し

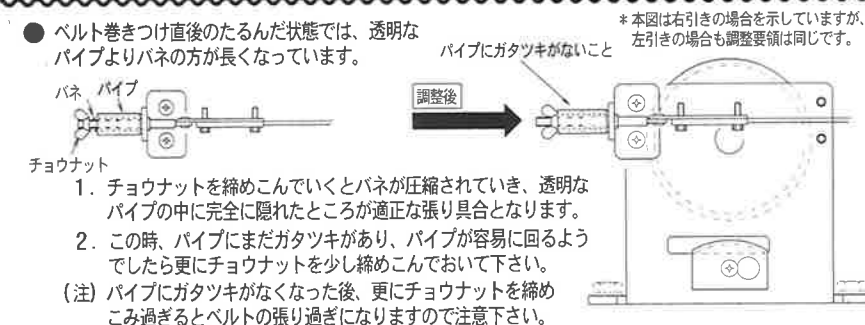
- 歯飛び防止ローラー、ローラーセット金具をセットし、ねじA、Bの順にしっかり締め付けて下さい。
- ホールドキーを取り外して下さい。



5 タイミングベルトの調整・扉閉鎖確認

- タイミングベルトのたるみ、張りすぎが無いようにチョウナットでバネをパイプの長さに調整した後、扉が正常に作動するか確認して下さい。(チョウナットで調整しきれない場合は、タイミングベルトを掛け直して下さい。)

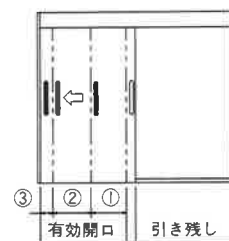
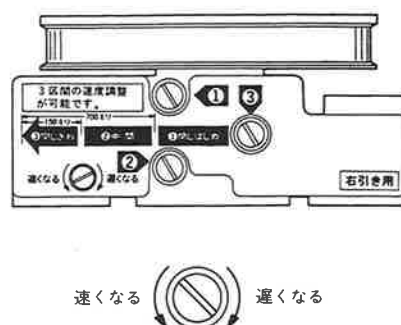
ホールドキーを取り外した後、再びタイミングベルトの掛け直しをする場合は、本体の回転を完全に戻した後(戻り力が無い状態)、半回転巻込んだ状態(時計廻りに約180°回転し、田マークが上になる位置)で扉が閉めた位置になるようタイミングベルトを本体へ掛けてください。



6 扉閉じ速度の調整

【あらかじめ調整してありますが、調整が必要な場合 次の要領で行って下さい】

- 速度調整区間は、①閉じはじめ、②中間、③閉じぎわの3区間に分かれています。
- ③閉じぎわの速度は、はね返りがない程度に調整してください。
- ①閉じはじめの調整は、②中間速度調整後に行ってください。



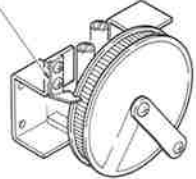
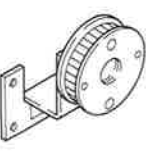
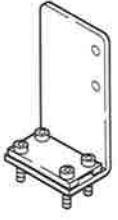
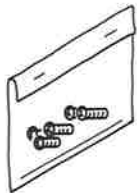
三和の 鋼製引戸 スムードTα用引戸クローザ

取付説明書

SW-1300T(L)
SW-1450T(L)

左引き用 (右引きの場合は裏面をご覧ください。)

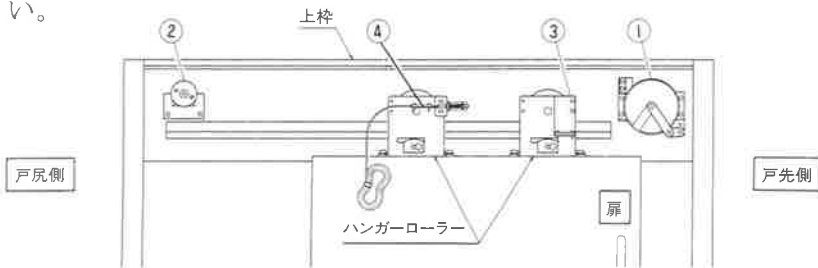
■梱包内容明細

①本体	1コ	②プーリー	1コ	③タイミングベルト取付金具	④タイミングベルト	1コ	⑤ねじM5×12	12コ	⑥六角棒スパナ	1コ
 ホールドキーを外さないでください				 1コ	 結束テープの色 SW-1300T：青 SW-1450T：黄					

■取付け手順

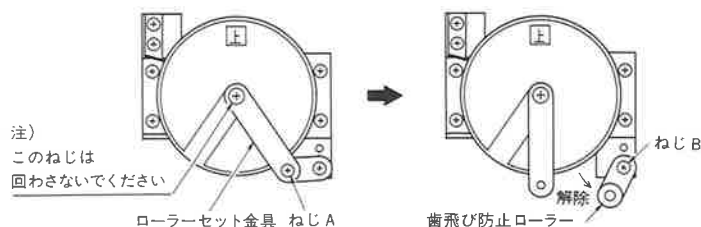
1 上枠及びハンガーローラーに部品の取付け

- 上枠に部品①、②をねじ⑤で取付けて下さい。
- 各ハンガーローラーの戸先側に部品③、④をねじ⑤で取付けて下さい。



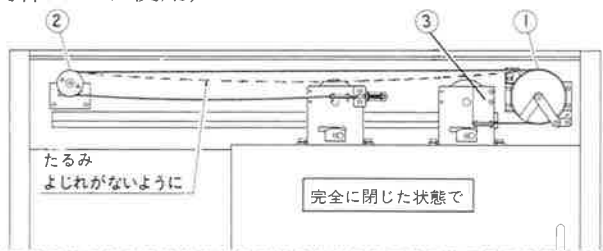
2 歯飛び防止ローラーの解除(タイミングベルト組付け準備)

- 本体①のねじAを取り外し、ローラーセット金具をフリーにして下さい。
- ねじBを緩め、歯飛び防止ローラーを解除して下さい。



3 タイミングベルトの組付け

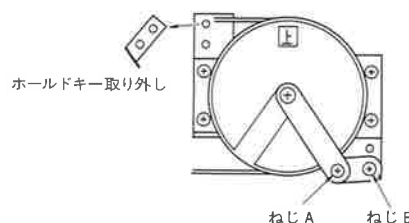
- 扉を完全に閉じた状態で、タイミングベルトをプーリー②と本体①に掛け、たるみ、よじれが無いように取付け金具③に固定して下さい。(六角棒スパナ使用)



注意 本体は、ホールドキーで回り止めされているので、手順4の作業が完了するまで扉を開けないでください。

4 歯飛び防止ローラーのセット・ホールドキーの取り外し

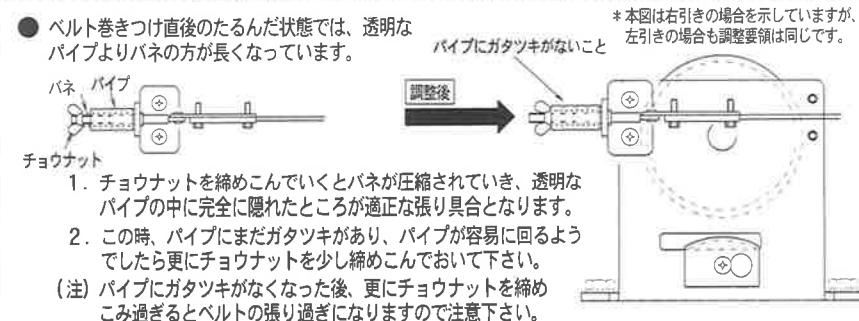
- 歯飛び防止ローラー、ローラーセット金具をセットし、ねじA、Bの順にしっかり締め付けて下さい。
- ホールドキーを取り外して下さい。



5 タイミングベルトの調整・扉閉鎖確認

- タイミングベルトのたるみ、張りすぎが無いようにチョウナットでバネをパイプの長さに調整した後、扉が正常に作動するか確認して下さい。(チョウナットで調整しきれない場合は、タイミングベルトを掛け直して下さい。)

ホールドキーを取り外した後、再びタイミングベルトの掛け直しをする場合は、本体の回転を完全に戻した後(戻り力が無い状態)、半回転巻込んだ状態(時計廻りに約180°回転し、Eマークが上になる位置)で扉が閉めた位置になるようタイミングベルトを本体へ掛けてください。



6 扉閉じ速度の調整

【あらかじめ調整してありますが、調整が必要な場合次の要領で行って下さい】

- 速度調整区間は、①閉じはじめ、②中間、③閉じぎわの3区間に分かれています。
- ③閉じぎわの速度は、はね返りがない程度に調整してください。
- ①閉じはじめの調整は、②中間速度調整後に行ってください。

